



花北青雲PTA会報

第106号

発行：令和5年3月 花北青雲高等学校PTA広報委員会



「アイノカタチ」

P T A 会長 小 菅 孝 広



日頃より P T A 活動への理解と参画を頂いております、

保護者の皆様には心より感謝申し上げます。また、佐々木校長をはじめ教職員の皆様にはコロナ禍という特殊な状況の中、学校運営を行って頂き、感謝申し上げます。同窓会・地域の皆様におかれましても、常に温かく見守って頂き、多くのご厚情に感謝申し上げます。

この花北青雲高校での3年間のご指導のおかげで子供達は皆大きく成長いたしました。ありがとうございます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。高校3年間はどうのような時間だったでしょうか？有意義な時を過ごせましたか？楽しい日々だけでなく、辛く、逃げ出したくなるような時もあったのではないのでしょうか。それでも様々なことを経て卒業を迎えたことは、これからの人生にきっと活かされることでしょう。そして保護者の皆様、お弁

当づくりや送迎など、3年間本当にお疲れさまでした。一緒に過ごした日々で成長する子供達に頼もしさを感じ、時には寂しさも感じたのではないかと思います。ご苦労様でした。

この子供達は、花北青雲高校に入学したときから、コロナ禍という特殊な状況下で学校生活を過ごしてきました。我慢や理不尽なことなどを乗り越えてきたと、私はそう思っています。

様々なアイノカタチに包まれて、過ごしてきた日々を胸に刻み、大きく羽ばたいてほしいと願っています。

最後に、皆さまの心情を表して結びとしたいと思います。

「あのね大好きだよ。あなたが心の中で広がっていくたび、愛が溢れ涙こぼれるんだ。」

がんばれ！
おらほのわらしえんど！



未来を生き抜く力

校長 佐々木 伸 良



日頃より、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

田畑に残る雪も解け始め、ハクチョウは北の大地へと戻る準備をしております。外はまだまだ冷たい風が吹いておりますが、窓から入る日差しは暖かく、確実に春の訪れが近いことを教えてくれます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、さまざまな制約が続いた1年でしたが、コロナに対する恐怖心というよりもコロナへの対応策をどう進めるべきかに苦心した1年でした。青雲高校の生徒たちは、コロナ禍で制限が続く中でも、日常の学業や部活動に、生徒会活動や行事に、それぞれ工夫を凝らして、日々取り組んでくれました。その取り組み姿勢は、自分の成長の土台となつていることに間違いはありません。特に3年生の3年間は、コロナ一色の3年間でした。仙台育英高校野球部の監督さんが述べたように「高校時代の3年間は若

者にとつて密な時間。」と言えます。生徒にとつては、自分の人生の土台となる3年間だつたと思います。コロナ禍のために、部活動や行事が思うようにできない。しかし誰も責められない理不尽な世界だと感じたことでしょうか。その理不尽な世界と感じた中でも、新しいやりがいや楽しみを見つけたのもこの3年間でした。

3年生の保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。卒業の日を迎えられたことを教職員一同、心よりお慶び申し上げます。今も続くコロナ禍において、保護者の皆様にもご負担とご迷惑をおかけしましたが、ご理解と温かいご支援を賜りましたことに改めて感謝を申し上げます。

さて、本校の教育目標である『キャリアデザイン』に自分らしい生き方を自ら力で切り拓き、人生をデザインする力を身につけてほしい、という願いが込められています。

一人ひとりが持つ力や可能性を十分に伸ばし、発揮していくためには、生活に必要な知識や技術に加え、物事を判断し正しく行動する力、目標を成し遂げようと努力する力、自分の前に立ちふさがる困難の壁を乗り越えようとする推進力が必要となります。

科学技術は時代とともに発達し、私たちの生活を大いに豊かなものにしてくれました。小さな島国の日本は、優れた先端技術を生かし、経済成長を遂げたのは、もはや昔のこととなり、少子高齢化や地方の人口減少は、大きな問題となっております。

世界に目を向ければ、格差社会や環境破壊そして紛争の絶えない世界になってしまいました。

解決の糸口が見えない世の中ですが、過去を振り返ると、いつの時代も閃光を放つのは、若者たちの声でした。混迷続く未来に新しい価値観を生み出し、正しい道を切り拓いていくのは、その未来を生き抜く生徒たちです。

10年後、20年後、30年後に花巻で、岩手で、日本で、そして世界で活躍するのは、本校の生徒たちです。

本校の生徒一人ひとりの成長を支援し、社会に貢献できる人材として、社会に送り出すために、引き続き保護者の皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

高P連報告

第71回全国高等学校PTA連合大会参加報告

PTA会長 小菅 孝広

会員の皆様には、日頃よりPTA活動へのご理解とご協力を頂きまして、感謝申し上げます。

さて、8月26・27日に石川県金沢市で開催された第71回全国高等学校PTA連合大会石川大会へ柳原先生と参加し、学びの機会を頂きました。コロナ禍の影響で中止が続く久しぶりの対面開催となり、非常に多くの参加者となっていました。

今大会のメインテーマ「輝く未来への礎」、サブテーマは「親から始める新時代の教育」です。このテーマの趣旨は、若者が抱える諸課題に対し学校に任せるのではなく、親自身がこうあるべきという姿を見せ、道標となることです。



求められている。新時代の教育とは、親が希望の持てる未来社会へのビジョンを持ち、

自らが未来への礎となって主体的に行動し始めることだそうです。

開会前のアトラクションから地元高校生が躍動し、各種表彰、分科会、記念講演と盛りだくさんの内容で行われました。

その中で自分が参加した第3分科会「新時代のキャリアデザイン」の内容を紹介したいと思います。サブテーマの「ローカルキャリアが育む未来の働き方・生き方」の内容で基調講演を行い、各パネリストがディスカッションを行うというものでした。地域に関わりながら働き、地域という生活者に近いところで共生関係を持ちながら人や資源を生かし共創することと

言われても今一つピンと来ませんでした。これからの若者たちが多様化する社会で、地域と密接に関わりながらキャリアを形成していくことが重要だということでした。

現在の社会構造上、様々な仕事を掛け持ちする欧州のよ

うな働き方はまだまだ許容できない環境にはありませんが、家庭・地域・学校がなすべき役割を考える良い機会となりました。

記念講演は澤田貴司さんの「やりたいことをやる」でした。伊藤忠商事・ファーストリテイリング（UNIQLO）・ファミリーマートと様々な会社で辣腕を振るわれている方です。

才能があるかないかではなく、失敗を恐れず挑戦することが大事という内容でした。子供達が未来を切り開くため、親としてできることがあるのではないかと考えさせられました。

このような貴重な機会に参加させて頂きましたことに感謝申し上げます。これからも「一筋の道」をゆく生徒に、親として先輩として「生き抜く力」を伝えていきPTAとしてできることに邁進していきましよう。



高P連に参加して

学習委員 高橋 君江

7月1日盛岡市文化ホールにて、第71回東北地区PTA連合会盛岡大会が開催されました。

研究協議では、「新しい生活様式における持続可能なPTA活動とは」のテーマで例年とは違う形式の六県の代表者によるパネルディスカッションが行われました。

コロナを気にしながらの活動で、PTAを見直す機会となっており、沢山の意見が出されました。その中でも、秋田県の代表の方の「出来ない言い訳をしない、したくない。やれることは確実にやる。前例にとらわれず、旧態依然の現状の検証が必要。そして子供の為、学校の為に原点に立ち返る必要がある。」との話に感銘を受けました。

午後からの記念講演では、南部美人代表取締役社長、5代目蔵元の久慈浩介氏が「南部美人の挑戦」という演題でお話をされました。

世界へ日本酒を広め、今では世界55カ国へ輸出し、生産量の30%超が海外で受飲されており、コロナの苦境の中、新規事業を立ち上げ経済被害を脱却したそうです。



医療的ケア児との出会いから、消毒用のアルコールを製造。周囲の大反対に言いながらも、どんなに困難な挑戦でも、目の前で困っている人を無視し通り過ぎることができなかつたという言葉と行動力に感動しました。「ピンチをチャンスに。普通の時はずっと普通に見える。大変な時こそ、やることに意味がある」と言われていた言葉が、PTAの活動にも通じる言葉だと思えます。

コロナ禍で制限のなかった生活を続ける子供たちの為に、大人が、出来ない事に対して言い訳をせず、出来る工夫をぎりぎりまでしていく必要があると強く感じました。

ロードレース大会

ロードレース大会の応援活動を通じて

母親委員長 山中 和美

去る10月12日(水)10時より例年行われていますロードレース大会においてPTA活動の一環として応援活動に参加させていただきました。コロナ禍により、毎年行われていた青雲祭でのそば店の開催もとうとう3年間行うことができず、なかなか生徒と触れ合う機会もなく残念に思っていたところ、このような活動に参加させて頂き大変良かったと思います。ここ数年雨による延期もないと先生がおっしゃっておられたことと清々しい天候のもと行うことができました。

これまでほとんど見る事ができなかった全校生徒の姿を見ることができ、とても感慨深く感じました。一生懸命ゴールに向かい、汗だくになって力あんばんとドリリンクを手にする姿やゴールを共に称えあう姿を見ながら、とても微笑ましく思いました。

今日一日を通してながら、生徒達が日々、楽しく学校生活を送っているのだなと感じさせて頂くことのできた時間

でした。このような貴重な機会を与えて下さり大変有難うございました。

女子総合第1位

2年D組 佐藤 鈴緒

今年のロードレースの感想を一言で言いますと、「しんどかった」です。去年のロードレースは1年生で、初めてだったこともあり、比較的楽しい気持ちの方が大きかったです。今年もスタート前はとても緊張したし、正直嫌だなとも思いました。しかし、去年優勝していますが、プレッシャーは全くなく、楽しく走れたら良いかなと考えていました。前日、母に

「緊張するな」

とつぶやいたところ、
「一生懸命走って、その結果が良かったらそれでいいんじゃない」

と言われました。それをもう一度思い出して「できることをやろう。楽しんで走ろう」と思い、スタートしました。去年よりもスタート直後みんな速く走っていたので少し焦りましたが、自分のペースで走れたのは良かったと思いま

す。中間地点を超えてからは楽しいよりも苦しいが勝るようになりましたが、学校が見えてきて、2連覇を意識しました。ラストフィニッシュ一周が一番きつかったです。足がもつれて減速してしまっただけが心残りですが、2連覇できて一安心しました。来年、女子の中で3連覇できるのは私だけなので成し遂げたい気持ちもあります。来年も楽しく走れたらと思います。

団体優勝

2年D組 菅原 萌

私たち2年D組は、ロードレースで団体の部で1位を取ることができました。このような賞を取ることができてとても嬉しいですね。

2年D組は、体育でロードレースの練習が始まることと悲鳴の嵐でした。雨が降っていたら全員で喜び、晴れると怒り、そのくらいロードレースが苦手でした。それでも、2年D組らしく明るく元気に盛り上げて、練習を頑張っていました。全員がゴールするまで全員で応援して、走り終わった人達には「お疲れ様」と声をかけ一人ひとりが努力したことで結果につながったと思います。また、練

習を全員で頑張ったおかげでシード権に5人も入ることができて、とてもよかったです。

当日、とてもいい天気にも恵まれロードレースを行うことができました。始まる前までは、それぞれが自分の思うように過ごし、リラックスした状態でスタートを切ることができました。一人ひとりが目標をもつて挑んだことがよい結果につながったと思います。地点ごとにいた先生方の声援により2年D組全員が背中を押されたと思います。

このように練習や本番を通して、2年D組のよさがこの1位という結果につながったと思います。結果より、参加した全員が走りきることができて、いい思い出ができてよかったです。



令和4年第57回 校内ロードレース大会結果

●特別表彰 (57位)

2C 牛崎 裕耶
3B 佐々木翠月

●部活動部門 (1位)

バドミントン部男子
バドミントン部女子

●団体

1位 2年D組 71.95
2位 3年A組 73.27
3位 2年C組 78.41

男子 5km	年組	名前	所属部	記録	女子 4km	年組	名前	所属部	記録
1位	2A	土屋 伯斗	陸上競技	28分33秒	1位	2D	佐藤 鈴緒	バドミントン	16分25秒
2位	3B	朝倉 大樹	陸上競技	29分36秒	2位	2D	河野 里穂	陸上競技	16分30秒
3位	2B	佐々木悠仁	陸上競技	29分42秒	3位	1B	上野 結愛	陸上競技	17分11秒
4位	2A	平賀 翔太	バドミントン	29分57秒	4位	1D	熊谷 楓	バドミントン	17分32秒
5位	2B	小山田泰地	バドミントン	30分4秒	5位	2C	池田 瑠羽	陸上競技	17分42秒
6位	2B	葛巻 匠生	硬式野球	30分25秒	6位	2D	菅原 萌	バドミントン	18分17秒
7位	1A	菅原 稜人	バドミントン	30分35秒	7位	1D	黒田 紗希	バドミントン	18分25秒
8位	2C	中島 光紀	陸上競技	30分36秒	8位	2B	佐々木青空	バレーボール	18分30秒
9位	1A	小山 大翔	バドミントン	30分40秒	9位	2C	森 柑奈	バドミントン	18分44秒
10位	2A	菊地 直仁	バドミントン	31分34秒	10位	2B	久保田つぐみ	バドミントン	18分45秒

一筋の道をゆく我等

インターハイに出場して

2年D組 佐藤 鈴緒

私は、徳島インターハイのダブルスとシングルスに出場しました。今大会を通して、沢山の課題が見つかり、さらに努力しなければいけないと改めて感じました。

今大会は初めての個人戦出場で、自分らしく楽しんでプレーすること、自分のペースを出し切ることを常に心がけました。

ダブルスでは1回戦の試合は、1ゲーム前半は自分達のペースで展開することができていましたが、後半、一本のミスで流れを変えてしまい、1ゲーム目を取り切ることができませんでした。2ゲーム目は風向きも追い風となり、自分達が得意な攻撃を生かすことができました。ロボの使い方や相手への対応など、試合の中でコントロールしながらできたのはよかったです。3ゲーム目は全

体的に自分達のペースで進めることができたのですが、マッチポイントを取ってから連続失点したので、ミス一本で止めること、流れを相手に渡さないことをこれからの練習でさらに意識していきたいと思いました。2回戦の倉敷中央との試合は、全体的に相手ペースで試合が展開されてしまいました。2ゲーム目は自分達のアタックを生かすプレーや空調をうまくみながらドライブなどで刺し込む球を使えたので、もつと活かせればよかったと思います。相手は前衛のタッチがうまく、自分達の球を抑えられてしまったことが多かったので、前衛をもつと強化していきたいです。ダブルスの課題は特にサービスレシーブ、ゲーム後半の集中力や判断力、レシーブの球種を増やしてプレーの幅を広げること、前衛の強化

です。自分達の得意なアタックの形にうまく持ち込んでいけるように、これらの課題をしっかりと克服してレベルアップしていきたいです。

シングルの1回戦は長崎の諫早商業の選手で、1ゲーム目はリードされていたものの、後半相手のゲームポイントから追いつくことができたのですが、最後は自分からミスをしてしまい、取り切ることはできませんでした。2ゲーム目は前半9-0と大きくリードすることができましたが、一本相手に決められると、自分からのミスで相手に流れを渡してしまい、流れを戻すことができず、逆転負け、不甲斐ない試合をしてしまいました。得意な展開で得点することができた場面があったのは良かったです。しかし、ミスした時に自分の中で「何かが違う」と思ってしまった、プレーをする上での気持ちのコントロールができていない、修正して気持ちの切り替えてプレーすることが課題で

す。相手が向かってくるのに対して冷静に対応できるようにしたいです。これからの練習で、相手に流れを作らせないゲーム展開や、徹底してミスをしていない技術力の向上、そのためのブレない体づくりなどをしっかりと自分を見つめ直してまた頑張りたいと思います。

今回のインターハイはこれまでの経験を活かした場面もありましたが、悔しい結果となりました。来年の3月には全国選抜が岩手で開催され、地元開催でもあるので、もつともつと強くなつて地元岩手でもつと活躍できるようにこれからも努力し続けていきたいです。



校歌が歌えない世代

3年D組 戸田彩水

入学してから早くも3年が経ち、卒業を間近に控えた今、振り返らずとも思い出せる出来事に溢れ、とても濃い高校生活だったと強く感じます。コロナ禍で真ん中の世代で入学し卒業していく私たちですが、その制限があつたからこそその体験を私たちはできたと実感しています。

私自身が今回取り上げてもらったように、全国高校生文芸コンクールでの入賞をはじめとし、様々な経験を積むことができたのは、この高校の文芸部に所属できたからだと思います。入部のきっかけ



は「続けられそうな部活がこれだけだった」という単純かつ無機質なものでした。しかし、そのなんとなく入った文芸部。活動場所は、夏は暑く冬は寒いそして暗い商事室。人目のつかない場で毎日2時間、百人一首と文芸作品の推敲・添削。地味すぎる環境下でも私が活動できたのは、部員がとにかく愉快であつたからです。毎日の部活動が楽しくて仕方なかったのも部員のおかげで、続けることができたのも部員のおかげでした。今思えばこれは必然だったのかとも思います。そうこうあつて百人一首でも文芸活動でも、全国大会まで名前を出すことができました。

今回、全国高校生文芸コンクールにて入賞した作品、詩「前世漫談」は、現実と非現実を混同させた世界を「前世」と謳い、漫談師口調で描いたものです。実際のところ前世とは不確かな存在であります。その不確実な事柄を鮮明に力強く説くのがおもしろいと思つて筆を進めました。

た。どうにでもできる未来の不確実さより、もう戻れない過去の不確実さのほうが、実はよっぽど無責任で尊いものだという真理に気づいて頂けたら幸いです。

はじめから先のことなどいうのはわかりません。だからこそ不安や好奇心というフイ

ワイプロ競技大会に出場して

3年B組 多田叶夢

私は7月27日に東京都で開催された全国高等学校ワイプロ競技大会に出場してきました。この大会は、10分間という時間の中で文書をいかに早く正確に打つことができると競うものです。県大会では3人1組のチームとなつて出場していましたが、ですが全国大会では個人

で出場することになりました。そのため、打者の変換を引き継いで自分の打数を伸ばすということではできなくなりますが、私は全国大会に向けて個人での練習をしていた際、変換のところで仲間が頼っていた部分もありましたので、最初のころは変換ミスが多々ありました。そこで文

ルターはつきもので、それゆえの未来であると感じます。それを越えるかくぐるか破るか溶かすか、方法は人それぞれだと思ひますが「なんとなく」で決めてもいいので、ぜひ自分の足を切り落とさないうでほしいなと願います。私たちは恐らく、唯一校歌



令和四年度 第六十九回全国高等学校ワイプロ競技大会

主催 全国商業高等学校協会 公益財団法人全国商業高等学校協会



書を速く打つより正確に打つことを重視すること、自分の苦手な部分を克服できるように励んできました。また、漢字が多い問題を多

が歌えないまま卒業する世代です。このコロナ禍という制限があるなかでも学べることも、成長することはいくらでもできました。これが全てではないけれど少しだけ継りながらこの先長い人生も自分の足で歩こうと思ひます。

めにやることで読めない漢字を減らすようにしました。そして迎えた大会当日。会場の中は何百人も入れるような広さと奥行きがあり、全国から集まった高校生たちの数もとても多くて驚きました。競技が始まる前に自分で用意した問題を打ち、指を動かして準備をしていました。そして、大会の時間が近づいてきて緊張していましたが、柳原先生が練習の時に「大会を楽しんで」と言っていたのを思い出し、一回限りならその一回を楽しもうと思ひ、本番では少し気を楽にして臨むことができました。

結果は、1646字を打ち235人中46位という成績で終わりました。目標は入賞することでしたので、達成することができなかったのが心残りでした。ですが、普段の練習と同じくらい打つことができたので、満足のいく結果で



体育祭





講話を聞いて

保健講話「食育(いそい)」

令和4年10月4日(火)

「未来をつくる食事力」

講師・ドクターズレストラン

Green * Green

管理栄養士

白井 名津子 氏

3年D組 劔吉 彩恵

「食生活が乱れると生活も乱れる」という言葉が印象的でした。生きる上で大切な衣食住のうち、1つでも怠ってしまうと全てのバランスが乱れ、くずれていくことを学びました。また、最近の日本全体の食生活は、昔よりも欧米化、外食文化の発展が進んだことで、安くてカロリーが高いものがより多く普及し、若者でも肥満者になったり、生活習慣病を引き起こしたりす



る人が増加していることを初めて知りました。その影響で、動脈硬化症の危険が高まり、将来的に血管に傷をつけてしまったり、破れてしまうため、毎日自炊をしなくても、買ってきたお惣菜にプラスして作ったり、買ってきたお弁当に足して一品手作りすることを心掛けたいと思いました。また、血糖値が高くなりやすい物を食べる時は①野菜を先に食べておく②運動をする前に食べておく③「タイミング」が大切ということを学びました。

保健講話「くすり(いそい)」

令和4年11月22日(火)

講師・フロンティア薬局

学校薬剤師

田村 宏明 氏

3年C組 佐々木 実音

くすりとは、あくまで体にとっての異物であるため、普段から健全な食生活・適切な運動・適切な休息を取って、自然治癒力をアップさせていきたいと思えました。また、くすりの用法・用量や、服用する時間についてのルールをしっかり守って、正しくくすりを使用していきたいと思えました。特に、「くすりを飲み忘れたからといって1度に



2回分飲まない」ということや、「のみ薬は、コップ1杯の水またはぬるま湯でそのまま飲む」という点に注意していきたいです。そして、医療用医薬品、一般用医薬品、OTC医薬品のどれについてもくすりの説明書をよく読むことが大切だと再確認することができました。

これからは、セルフメディケーションのために自分自身で自分の健康管理をして、病気の症状によってどのくすりを使うかよく考えて使用していきたいです。くすりの依存症にならないように、そしてくすりが毒にならないように、正しく「くすり」を使用するよう心がけていきたいです。

がん教育講演会

令和4年12月13日(火)

「がんの予防、治療、緩和ケア

ア〓患者さんと家族をささえるチームの力〓」

講師・岩手県立中部病院

副院長

星野 彰 氏

1年A組 鈴木 真白

自分は、今日の講演会を通して、がんは自分達の生活においてすぐ身近なものだったんだなと感じました。特に自分が怖いなと感じたことは、がんは誰でもなる可能性のある病気という点です。「たばこを吸っているから、飲酒をしているからがんになりやすい」と思いがちだけど、それは「がんのリスクを高める行為」であって、健康な人でも急にがんになることがあるということを知りました。

がんの予防は、早期発見・治療が大切だと聞いたことがあるので、自分も検診をうけられる年齢になったら、検診



をうけてみようと思いましたが。また、少しでもがんで苦しむ人を減らすために、予防や検診をすすめられる人になりたいです。もし、身近な人や自分がかんになっても、気持ちは落ち込むと思うけど、自分にできること、相手にしてあげられることを考えて行動したいです。

薬物乱用防止講話

令和5年1月31日(火)

「不正薬物乱用防止と税関の役割」

講師・函館税関釜石税関

支署 山本 元嗣 氏

1年A組 中村 耀

ニュースを見ているとまれに麻薬のことを報道していることがありますが、改めて危険性を学ぶことができませんでした。また、若年層を中心として、手を染めてしまう人が多いいことや、年々検挙している数も増えていることを初めて知りました。手を出してしまいう要因として、一部の麻薬は、簡単に手に入ってしまうこと、誘われて、一回だけなら、仲間はずれにされたくないからと心が揺れてしまったたり、圧力に負けてしまったたりと、人間としての弱いところ

一年間の軌跡

【情報工学科】

出前授業を通して

情報工学科 福島 豊

があつたりするということも再確認することもできました。きつぱりと断るといふことを分かつていても、実際にその場になってみると言えないということになることを学び、そうすることが難しいことも学んだので、今まで以上に強い心を持つようになりたいです。

麻薬の密輸を防ぐために、水際で日夜働いていることを学び、税関では、貿易関連の仕事の他にも、日本の安全を守っていることも知りました。陸上・海上のどちらでも常に警戒して、警備を網羅させていたり、外国から船、貨物、荷物のその全て、徹底的に検査、取締り、検挙、摘発していることを知り、安全・安心を守るため最新鋭の機械、麻薬探知犬の導入といった厳重体制を築き上げていることを知りました。



12月27日(火)に八重畑学童クラブにおいて、岩手大学生産技術センター花巻サテライト主催による理科教室の出前授業を行いました。

1・2年生グループでは手回し発電機と発電活用装置を利用して、発電・蓄電について学習したのち、発電量やLEDの点灯速さを競うゲームを行いました。3・4年生グループではサララップの芯を利用してコイルを作り、金属探知機に接続して、2チームに分かれ隠してある金属を探し出すことを行いました。5・6年生ではプリント基板に電子部品をハンダ付けして回路を完成させ、動作確認を



行いました。初めての作業ということもあり苦労した部分もありましたが、講師を務めた生徒たちが、それぞれの不具合箇所の対応をしたことで全員完成させることができました。水分検出した際には、八重畑小学校の校歌が流れるようにしてあり参加した児童たちはとても喜んでいました。

各グループを担当した本学科の1年生と3年生11名が講師を務めた生徒たちは、児童たちに「教えることの楽しさ」とともに「理科の魅力」を伝えることができたともよい機会であつたと思います。出前授業は3年ぶりの実施となりましたが、来年度からは地域の小中学校により多くの出前授業を実施することで、本学科の魅力の情報発信していきたいと考えています。



【ビジネス情報科】

青雲祭マーケットを通して

2年C組 和野内 奏詩

青雲祭マーケットでは、生徒がいくつかの班に分かれ、全国各地の名産品を取り寄せ、文化祭でお客様に販売しました。この企画は、青雲祭で行われている伝統あるものです。今年度は昨年度と変わり、全校生徒の同居家族、近隣にある中学校の3年生を迎え入れての開催となりました。

全国を地方ごとに班に振り分け、地域の特徴などを調べながら何を売りたいか個々で考えての作業となりました。私のグループは山陰地方と瀬戸内地方を選択し、私は愛媛県を担当しました。インターネットを使いその地域を調べていくうちに何が有名なものかなど、今まで知らなかったことにも触れることができました。何を仕入れたら売れそうか、誰をターゲットとするかなど全部自分たちで決めるといふ新しい体験でした。仕入れ先に個々で電話をかけ交渉し、FAXを送るなど日常生活では体験することができないことを味わうことができ、



とても良い経験になりました。電話をかける時の対応を何度も確認し緊張してかけましたが、担当の方が優しく丁寧な対応をしてくださったので焦ることなく落ち着いて交渉することができました。授業で習った仕入値などの価格設定をより実践的に行ったため、理解を深めながら学ぶことができました。POP制作では、その商品のおすすめしたい部分や特徴をよりわかりやすく、より目立たせるよう工夫を凝らし苦戦しながらの作業でした。手書きだったため、それぞれの個性が活きたPOPができあがったと思います。

今回の青雲祭マーケットで仕入からの一連の流れを経験

ビジネス情報科 の取り組み

3年「課題研究」ビジネスプラン・グランプリ①

生徒が主体的に行動し、若者の目線で新しいビジネスプランを考えました。企業へのヒアリングなどを通してビジネスの知見を深め、地域の未来を創造するきっかけとなりました。



地域貢献活動② 朝市「ひといち」

朝市での商品販売を通じて、地域の皆様と交流を深めることができました。



地域貢献活動③ 石鳥谷「酒蔵祭り」

石鳥谷商店街「酒蔵」のオープンイベントにビジネス情報科の生徒も参加しました。



地域貢献活動④ 「道の駅」石鳥谷

商業研究同好会の生徒が週末に商品の陳列や販売を行い、これまで学んできた会計・情報処理・マーケティング等の知識を統合的に生かし、主体性や接客のマナー等を実践できる貴重な体験となりました。



し、商品の見せ方や販売することの難しさを実感することになりまし。この経験をこれから先の生活で活かしていきたいと思います。

アサヒ飲料とともに 地域共創を

2年B組 阿部 結太

「地域共創・Community」地域・人に寄り添い、豊かな地域を共に創る」をコンセプトとして掲げ、地域貢献を行い、魅力ある花巻市を多くの方に知ってもらいたいという考えからアサヒ飲料さんとの協同活動が始まりました。

まず、大手飲料メーカーと花北青雲高校がコラボするようになったきっかけは、私達の先輩が地元飲食店の魅力をPRしようと、各店のサービスマンと市営循環バスの乗車券、オリジナルアクセサリーを入れたカプセル自動販売機を設置するというすばらしいプロジェクトがテレビで放送されました。その放送がアサヒ飲料で働いている皆さんの目に留まったのが始まりで、今年度からコラボを行うようになったのがきっかけです。プロジェクトを進めるにあ

たつて、やはり私達生徒だけでは限りがあるので、アサヒ飲料さんや担当の先生方からのサポートを受けながら、子供なりに想像を膨らませたり、時には現実的に大人になって物事を考えたりして試行錯誤を繰り返してきました。そうして私達は、先輩達の取り組みをヒントにし、花北青雲高校のマスコットキャラクターの認知度をあげたいという願いから、「くまくも」を活用したデザインを生徒達が作り、自動販売機へラッピングすることになりました。

その他にも売上の一部をフードバンク岩手へ寄付する社会貢献を考えました。これらを実行するにあたり、生徒がい



くつかの班に分かれて、一人一人が重要な役割を担いながら協力し合い取り組んでいます。

最後に、私はこのプロジェクトを通して改めて俯瞰する力が何事においても必要不可欠だと思いました。今までの取り組みは目の前のことに集中していた気がするのですが、まだ続く地域共創プロジェクトを一步引いた視点で考え、必ずすばらしいものにします。

【総合生活科】

令和5年1月31日(火)に総合生活科3年間の集大成となる保護者感謝会を行いました。

保護者からのメッセージ

入学からコロナで行事が中止になることが多い3年間でした。今回、感謝会が再開出来て良かったです。参加することが出来て良かったです。はじめの会がスタートしたときは、照れくさくてドキドキしているのを感じました。親はワクワクしていました。手話合唱では、手話をしながら歌っているのを見て、気持ち伝わってきた感動しました。オペレッタの「てぶ



「くろ」は、始めちよつと恥ずかしそうでしたが、みんな楽しく演技して良かったです。コース料理にも感動しました!!ひとつひとつ丁寧に料理が作られていて、盛り付けも素晴らしいかったです。とてもおいしくて完食しました。食事のハンドベルやピアノ演奏は、みんな一生懸命です。素晴らしいBGMでした。最後、お茶を振舞って頂いて、久しぶりに美味しいお茶を頂きました。サプライズで色紙、花束のプレゼント、うれしかったです。D組のみなさん、すばらしいおもてなしをして頂き感動しました。みんなの感謝の気持ちが伝わりました。本当にありがとうございました。

● コロナの影響で以前のよう
な活動ができなくなり、まさ
か、娘が青雲高校に入学して
この機会が訪れるとは思って
いませんでした。今年度は開
催されると知り、すぐに参加
することを伝えました。実際
参加してみると、会場への生
徒の誘導や案内も丁寧で、会
場にスムーズに辿り着きまし
た。手話合唱、オペレッタ、
食事の1つ1つ、ハンドベル
やピアノ演奏も練習の成果が
見られました。授業や検定で
とても練習したのだと思いま
した。一番嬉しかったのは色
紙いっぱい書かれた親への
感謝のメッセージでした。普
段は、そんな素振りは見せな
いのになんと大人へと成長
して自分の気持ちを自分
の言葉で伝えてくれて嬉し
かったです。私の夢であった

保護者感謝会を開いてくだ
さった学校と、一生懸命もて
なしてくれた3年D組の生徒
に感謝しています。

総合生活科での 3年間で学んだこと

3年D組 菊池 日和

高校生活では、食に関する
知識や技術を身に付けたり、
1枚の布から甚平やブラウス
を作り上げたり、家庭看護技
術や言語表現技術等、保育に
ついて学びました。他に
も、茶道や華道、書道、装
道、シユガークラフトや和菓
子講習会といった総合生活
科でしか学べないことにたく
さん触れることができ、充実
した高校生活を送ることがで
きて幸せでした。



3年間で一番印象に残ってい
ることは、商品開発に向けた
取り組みです。生活産業基
礎や課題研究の授業で商品
開発の基礎を学び、自分たち
が1から考えた商品を自分た
ちで販売する活動を通して、
地域の方々と交流する機会が
ありました。「新聞を見て買
いに来ました」「前回買って
おいしくてまた買いに来まし
た」などと嬉しいお言葉を
いただけることも多く、心が温
かくなりました。商品を考え

るにあたり、最初はあまり自
分から意見を出すことができ
ませんでした。お客様の前
場を考えたうえでよりよい商
品になるよう、自分の意見を
はつきりと伝えられるよう
になりました。私は、苦手とし
ていたことも、優しい3Dの
仲間がいたからこそ乗り越え
られました。販売のために放
課後まで準備をしたり、課題
が残るとみんなできるとん意
見を出し合って改善したり、
辛い経験もありましたが、そ
の時間も含めて仲間とかけが
えのない時間を共有できたこ
とは、何よりの宝だと思っ
ています。

困難なことがあり挫けそう
になっても、常に励ましてく
れた家族、親身
になつて寄り
添ってくれた先
生方、相談に
乗ってくれた友
人のおかげで今
の私がいます。
卒業後も、3年
間の学びと感
謝の気持ちを
忘れず、お世話
になった方々に
恩返しできる
よう日々努力
します。

花北青雲高
特産物生かし新商品
「地域産物を生かした新商品」の開発に
令和4年10月30日



令和4年度進路概況

進路指導部 三浦 秀樹



3年ぶりにインターンシップを実施するなど、コロナ前に戻ったような学校生活になり、3年生は民間就職63名、公務員6名、進学75名(2月9日現在)の内定・合格者を出せたことは何よりであった。

就職面をふり返ると求人数にも恵まれ、9月16日から第1陣での合格率も高く善戦した。また特定の企業に就職する生徒が多いのが今年の特徴だったが、来年度は花巻管内の有力企業にも良い人材を送っていきたくと考えている。

2月に本校で開催された花巻市主催出前型企業説明会では花巻管内4社からの説明を受け、生徒の意欲的な姿勢は関係者に評価をいただいているが、新3年生は油断せずに進路活動に取り組むことにより、今年度同様の好結果につながってもらいたい。来年度も3年生は総合的探究の時間(木曜日5〜6校時)を中心にSPI対策や模擬面接を実施する予定である。

公務員は6名の採用が決定した。2年前からコロナ禍

による安定志向が強まり、競争率が高まる中で苦戦を強いられた。しかし生徒はこうした背景をもとめせず果敢に挑戦し、6名合格という結果を出したことは満足している。また、今年採用が叶わなかった生徒の約半数は専門学校でさらに強力な対策を講じ、再チャレンジを考えている。

合格した6名については試験対策の取り組みが早かったことが勝因として上げられると思われる。毎日の計画的な家庭学習と外部講師ガイダンスへの積極的参加、そして何よりも目標実現のための学習意欲の向上が見られた。平日の放課後も自ら盛岡の専門学校に通い、模擬面接に参加するなど最後まであきらめずに地道に取り組んだことが合格という成果を生み出したことと言えよう。

進学希望者は岩手大学理工学部1名・弘前大学人文社会科学部1名・岩手県立大学ソフトウェア情報学部2名の国公立大学4名をはじめ75名が多くの進学先を決定している。指定校推薦・一般推薦や総合型入試による受験により合格した生徒が多いが、1・2年生の進学希望者は志望先の入試制度を熟

慮した上で対策を立てるべきである。卒業生の合格体験記を読むと、4大進学者は「もともと早くから勉強しておけばよかった」と多くの生徒が書いている。結果的に合格を勝ち取り、多くの生徒は次の希望のステージに上がることが出来るのだが、余裕をもって進路活動をすべきだったと振り返っている生徒が多い。そうした先輩たちからの助言を忘れずに、新3年生は目標実現にむけて取り組んで欲しいと思われる。

いずれ卒業生の進路先を決定することが出来たのは、保護者の皆様のご指導と本校教育へのご理解によるものと思われる。この場を借りて感謝申し上げる次第である。高校時代とは、いつたいたのような時期なのだろう、ふと考えることがある。

人格形成の時期、人生の分岐点の時期、青春時代……様々な言われ方があるが、いざにせよ、自らの人生において大切な時期であることは間違いない。一方、我々大人たちは、よく「あの日に帰りたい」という言葉を口にしている。結局のところ、大人は誰しも程度の差はあれ後悔の念を持っていくことである。

私たち教師の使命はかつての自分たちに置き換えて、生徒に少しでも「たら」「れば」なき人生を歩んでもらうようサポートすることである。「あの日の自分に言いたいことを今の生徒たちに言っておきたい。背中を押してあげ

たい。知らなければならぬ情報を提供してあげたい。翻弄させるような情報から守ってあげたい。」そのことを常に念頭に置き、これからも生徒の進路活動をサポートしていく所存である。

生徒会功労賞

(県大会優勝または最優秀賞、東北大会入賞、全国大会に出場した団体または個人)

- (1)第73回全国高等学校総合体育大会バドミントン競技
 - 女子ダブルス 2C 森 相奈 2D 佐藤 鈴緒
 - 女子シングルス 2D 佐藤 鈴緒
 - 男子ダブルス 3A 佐々木歩生 3C 黒田 脩生
- 第41回全日本ジュニアバドミントン選手権大会
 - 女子ダブルス 2C 森 相奈 2D 佐藤 鈴緒
- 第51回全国高等学校選抜バドミントン大会男子団体
 - 2A 平賀 翔太 2A 菊地 直仁
 - 2B 菅野 夏央 2B 人首 稜太
 - 2B 小山田泰地 1A 菅原 慎人
 - 1A 鈴木 真白
- 女子団体
 - 2B 久保田つぐみ 2C 森 相奈
 - 2D 佐藤 鈴緒 1C 村松 愛花
 - 1D 熊谷 楓 1D 黒田 紗希
- (2)第64回全国高等学校ビジネス計算競技大会
 - 2C 和野内奏詩
- (3)第46回全国高等学校総合文化祭とうぎょう総文2022
 - 小倉百人一首かるた部門 3D 菅原 百花 3D 戸田 彩水
 - 2C 川村 真鈴
 - 令和4年度岩手県高校生文芸コンクール詩部門 最優秀賞 3D 玉山日菜美
 - 詩部門 優秀賞 3D 戸田 彩水
- (4)令和4年度第69回全国高等学校ワープロ競技大会
 - 3B 多田 叶夢
 - 令和4年度岩手県高等学校新人ワープロ競技大会 団体の部 第1位
 - 2B 藤瀬日陽莉 2B 松本 涼花
 - 2D 岡崎 愛月
- (5)ジャパンマイコンカーラリー2023全国大会
 - 3C 大原 空晃
- (6)令和4年度全国高等学校情報処理競技大会
 - 3C 佐々木羽菜

令和4年度民間就職・公務員・進学内定状況（令和5年2月20日現在）

種別	区分	職種	※公務員の()の数は合格者数、右側の数値が進路決定者数。						種別	区分	職種	※企業名・学校名 順不同										
			情報工学科		ビジネス情報科		総合生活科					情報工学科		ビジネス情報科		総合生活科						
			男	女	男	女	男	女				男	女	男	女	男	女					
管内 県内	【金融・保険業】 花巻信用金庫 (株)岩手銀行 北上信用金庫	事務職 銀行業務全般 金融事務一般			1	1			【公務員】 税務職員 関東 税務職員 東北 若手県職員 若手県職員 盛岡市職員 花巻市職員 北上市職員 自衛隊 一般曹候補 自衛隊 自衛官候補		一般行政事務 一般行政事務			(1)	(1)							
						1							(1)	(2)	(1)	(1)						
小計			4	0	0	1	2	0	1		(1)			(1)	(1)							
管内 県内	【卸売・小売業】 (株)PALTAC東北支社 (株)あらた東北支社 (株)メディセオ	物流職 物流職 商品管理職	1						公務員合格者の数() 公務員内定者計			10	2	0	5	8	0	1				
						1							6	1	0	2	3	0	0			
小計			10	3	0	4	2	0	1			16	3	0	7	11	0	1				
管内 県内	【複合サービス業】 花巻農業協同組合	総合職			1				就職内定者総計			69	13	44	12							
																【国公立大学】 4 弘前大学 人文社会学部 岩手大学 理工学部 岩手県立大学 ソフトウェア情報学部						
管内 県内	【製造業・建設業】 (株)アイオー精密 SWS東日本(株)太迫工場 (有)COS工業 イーエヌ大塚製薬(株) 日東工業(株)花巻工場 (株)中央コーポレーション 富士フィルムヘルスケアマニュファクチャリング(株) 富士フィルムヘルスケアマニュファクチャリング(株) フクビハウジング(株)	事務職 製造(一般職) 製造 医薬品製造 製造技能職 事務 資料調達 製造技能職 総務経理事務	1					【私立大学】 19 東北学院大学 経済学部 東北学院大学 経営学部 東北工業大学 工学部 東北工業大学 建築学部 石巻専修大学 理工学部 東北文化学園大学 建築学部 日本工業大学 先進工学部 千葉商科大学 商経学部 文教大学 経営学部 富士大学 経済学部 国際医療福祉大学 保健医療学部 盛岡大学 栄養科学部 盛岡大学 文学部 宮城学院女子大学 学芸学部 宮城学院女子大学 教育学部														
																				【国公立短期大学】 3 岩手県立大学盛岡短期大学部 生活科学科 会津大学短期大学部 産業情報学科 会津大学短期大学部 幼児教育科		
小計			5	0	0	1	2	0	2													
管内 県内	【製造業・建設業】 (株)アイオー精密 SWS東日本(株)太迫工場 (有)COS工業 イーエヌ大塚製薬(株) 日東工業(株)花巻工場 (株)中央コーポレーション 富士フィルムヘルスケアマニュファクチャリング(株) 富士フィルムヘルスケアマニュファクチャリング(株) フクビハウジング(株)	事務職 製造(一般職) 製造 医薬品製造 製造技能職 事務 資料調達 製造技能職 総務経理事務	1					【私立短期大学】 5 仙台青葉学院短期大学 救命救急学科 盛岡大学短期大学部 幼児教育科														
																				【公立短期大学校】 4 岩手県立産業技術短期大学校 メカトロニクス技術科 岩手県立産業技術短期大学校 情報技術科 岩手県立産業技術短期大学校 産業デザイン科		
小計			5	0	0	1	2	0	2													
管内 県内	【製造業・建設業】 (株)アイオー精密 SWS東日本(株)太迫工場 (有)COS工業 イーエヌ大塚製薬(株) 日東工業(株)花巻工場 (株)中央コーポレーション 富士フィルムヘルスケアマニュファクチャリング(株) 富士フィルムヘルスケアマニュファクチャリング(株) フクビハウジング(株)	事務職 製造(一般職) 製造 医薬品製造 製造技能職 事務 資料調達 製造技能職 総務経理事務	2	7	1			【専門学校】 40 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 情報システム学科 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 総合システム工学科 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校 経理ビジネスコース 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校 税理士コース学科 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校 医療事務コース 岩手医科大学医療福祉専門学校 歯科衛生士科 大原スポーツ公務員専門学校 1年制公務員チャレンジコース 盛岡医療福祉スポーツ専門学校 医療事務学科 盛岡医療福祉スポーツ専門学校 子ども未来学科 盛岡ヘアメイク専門学校 美容科 盛岡ヘアメイク専門学校 ビューティーセラピスト科 北日本医療福祉専門学校 子どもマスター養成科 北日本医療福祉専門学校 介護福祉科 花巻高等看護専門学校 看護学科 北日本ハイテクニカルッキングカレッジ 高度調理科 北日本ハイテクニカルッキングカレッジ 高度製薬衛生士科 専修大学北上福祉教育専門学校 保育科 千歳高等技術専門学校 自動車システム科 松下幸之助商学院 仙台リゾート&スポーツ専門学校 スポーツITトレーナー科 宮城デザイン&テクノロジー専門学校 スーパークリエイター学科 宮城文化服飾専門学校 服装科 北上コンピュータアカデミー システムネットワークコース 仙台大原簿記情報公務員専門学校 税理士会計コース 盛岡公務員法律専門学校 行政事務科														
小計			35	8	1	11	11	0	4													
管内 県内	【電気・ガス・熱供給・水道業】 水ing(株)東北支店	運転管理			1				【専門学校】 40 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 情報システム学科 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 総合システム工学科 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校 経理ビジネスコース 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校 税理士コース学科 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校 医療事務コース 岩手医科大学医療福祉専門学校 歯科衛生士科 大原スポーツ公務員専門学校 1年制公務員チャレンジコース 盛岡医療福祉スポーツ専門学校 医療事務学科 盛岡医療福祉スポーツ専門学校 子ども未来学科 盛岡ヘアメイク専門学校 美容科 盛岡ヘアメイク専門学校 ビューティーセラピスト科 北日本医療福祉専門学校 子どもマスター養成科 北日本医療福祉専門学校 介護福祉科 花巻高等看護専門学校 看護学科 北日本ハイテクニカルッキングカレッジ 高度調理科 北日本ハイテクニカルッキングカレッジ 高度製薬衛生士科 専修大学北上福祉教育専門学校 保育科 千歳高等技術専門学校 自動車システム科 松下幸之助商学院 仙台リゾート&スポーツ専門学校 スポーツITトレーナー科 宮城デザイン&テクノロジー専門学校 スーパークリエイター学科 宮城文化服飾専門学校 服装科 北上コンピュータアカデミー システムネットワークコース 仙台大原簿記情報公務員専門学校 税理士会計コース 盛岡公務員法律専門学校 行政事務科													
小計			1	0	0	1	0	0	0													
管内 県内	【情報通信・運輸業】 岩手雪運(株)	事務				1			【専門学校】 40 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 情報システム学科 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 総合システム工学科 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校 経理ビジネスコース 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校 税理士コース学科 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校 医療事務コース 岩手医科大学医療福祉専門学校 歯科衛生士科 大原スポーツ公務員専門学校 1年制公務員チャレンジコース 盛岡医療福祉スポーツ専門学校 医療事務学科 盛岡医療福祉スポーツ専門学校 子ども未来学科 盛岡ヘアメイク専門学校 美容科 盛岡ヘアメイク専門学校 ビューティーセラピスト科 北日本医療福祉専門学校 子どもマスター養成科 北日本医療福祉専門学校 介護福祉科 花巻高等看護専門学校 看護学科 北日本ハイテクニカルッキングカレッジ 高度調理科 北日本ハイテクニカルッキングカレッジ 高度製薬衛生士科 専修大学北上福祉教育専門学校 保育科 千歳高等技術専門学校 自動車システム科 松下幸之助商学院 仙台リゾート&スポーツ専門学校 スポーツITトレーナー科 宮城デザイン&テクノロジー専門学校 スーパークリエイター学科 宮城文化服飾専門学校 服装科 北上コンピュータアカデミー システムネットワークコース 仙台大原簿記情報公務員専門学校 税理士会計コース 盛岡公務員法律専門学校 行政事務科													
小計			2	0	0	0	2	0	0													
管内 県内	【医療・福祉】 上村歯科医院 医療法人 小原クリニック 社会福祉法人 宝寿会 医療法人杏林会 イーハートブ病院	歯科助手 臨床工学士候補 介護職員 調理員 医療事務							【専門学校】 40 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 情報システム学科 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 総合システム工学科 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校 経理ビジネスコース 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校 税理士コース学科 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校 医療事務コース 岩手医科大学医療福祉専門学校 歯科衛生士科 大原スポーツ公務員専門学校 1年制公務員チャレンジコース 盛岡医療福祉スポーツ専門学校 医療事務学科 盛岡医療福祉スポーツ専門学校 子ども未来学科 盛岡ヘアメイク専門学校 美容科 盛岡ヘアメイク専門学校 ビューティーセラピスト科 北日本医療福祉専門学校 子どもマスター養成科 北日本医療福祉専門学校 介護福祉科 花巻高等看護専門学校 看護学科 北日本ハイテクニカルッキングカレッジ 高度調理科 北日本ハイテクニカルッキングカレッジ 高度製薬衛生士科 専修大学北上福祉教育専門学校 保育科 千歳高等技術専門学校 自動車システム科 松下幸之助商学院 仙台リゾート&スポーツ専門学校 スポーツITトレーナー科 宮城デザイン&テクノロジー専門学校 スーパークリエイター学科 宮城文化服飾専門学校 服装科 北上コンピュータアカデミー システムネットワークコース 仙台大原簿記情報公務員専門学校 税理士会計コース 盛岡公務員法律専門学校 行政事務科													
小計			6	0	0	0	2	0	4													
管内 県内	【不動産業・物品賃貸業】								【専門学校】 40 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 情報システム学科 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 総合システム工学科 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校 経理ビジネスコース 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校 税理士コース学科 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校 医療事務コース 岩手医科大学医療福祉専門学校 歯科衛生士科 大原スポーツ公務員専門学校 1年制公務員チャレンジコース 盛岡医療福祉スポーツ専門学校 医療事務学科 盛岡医療福祉スポーツ専門学校 子ども未来学科 盛岡ヘアメイク専門学校 美容科 盛岡ヘアメイク専門学校 ビューティーセラピスト科 北日本医療福祉専門学校 子どもマスター養成科 北日本医療福祉専門学校 介護福祉科 花巻高等看護専門学校 看護学科 北日本ハイテクニカルッキングカレッジ 高度調理科 北日本ハイテクニカルッキングカレッジ 高度製薬衛生士科 専修大学北上福祉教育専門学校 保育科 千歳高等技術専門学校 自動車システム科 松下幸之助商学院 仙台リゾート&スポーツ専門学校 スポーツITトレーナー科 宮城デザイン&テクノロジー専門学校 スーパークリエイター学科 宮城文化服飾専門学校 服装科 北上コンピュータアカデミー システムネットワークコース 仙台大原簿記情報公務員専門学校 税理士会計コース 盛岡公務員法律専門学校 行政事務科													
																						【国公立短期大学校】 4 岩手県立産業技術短期大学校 メカトロニクス技術科 岩手県立産業技術短期大学校 情報技術科 岩手県立産業技術短期大学校 産業デザイン科
小計			0	0	0	0	0	0	0													
管内 県内	【教育・学術支援業】								【専門学校】 40 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 情報システム学科 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 総合システム工学科 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校 経理ビジネスコース 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校 税理士コース学科 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校 医療事務コース 岩手医科大学医療福祉専門学校 歯科衛生士科 大原スポーツ公務員専門学校 1年制公務員チャレンジコース 盛岡医療福祉スポーツ専門学校 医療事務学科 盛岡医療福祉スポーツ専門学校 子ども未来学科 盛岡ヘアメイク専門学校 美容科 盛岡ヘアメイク専門学校 ビューティーセラピスト科 北日本医療福祉専門学校 子どもマスター養成科 北日本医療福祉専門学校 介護福祉科 花巻高等看護専門学校 看護学科 北日本ハイテクニカルッキングカレッジ 高度調理科 北日本ハイテクニカルッキングカレッジ 高度製薬衛生士科 専修大学北上福祉教育専門学校 保育科 千歳高等技術専門学校 自動車システム科 松下幸之助商学院 仙台リゾート&スポーツ専門学校 スポーツITトレーナー科 宮城デザイン&テクノロジー専門学校 スーパークリエイター学科 宮城文化服飾専門学校 服装科 北上コンピュータアカデミー システムネットワークコース 仙台大原簿記情報公務員専門学校 税理士会計コース 盛岡公務員法律専門学校 行政事務科													
																						【国公立短期大学校】 4 岩手県立産業技術短期大学校 メカトロニクス技術科 岩手県立産業技術短期大学校 情報技術科 岩手県立産業技術短期大学校 産業デザイン科
小計			0	0	0	0	0	0	0													
企業就職内定者計			83	11	1	18	21	0	12													
											進学合格者総計		75	13	33	29						
											【進学予備校・留学準備等】											
											小計		0	0	0	0	0	0				
											進路決定者総計		144	26	77	41						

令和4年度 部活動等成績

硬式野球部

◆第69回春季東北地区高等学校野球選手
県大会 花巻地区予選
1 回戦 対遠野○4-2
2 回戦 対花巻東●1-12
敗者復活戦 対花巻●0-10
(5回コールド)

◆第3代表決定戦 対花南●1-9
第104回全国高等学校野球選手権大
会岩手大会
1 回戦 対福岡工○6-4
2 回戦 対伊保内・磐米●2-5

◆第75回東北地区高等学校野球選手県大
会花巻地区予選
1 回戦 対遠野緑峰○13-0
2 回戦 対花巻東●0-11
(5回コールド)

敗者復活2回戦 対花農○15-2
(5回コールド)
代表決定戦 対花南●0-2

ソフトボール部

◆第74回岩手県高等学校ソフトボール競
技
1 回戦 対大船渡○23-13
2 回戦 対花巻南●1-9 ベスト16
令和4年度高校女子ふれあいソフト
ボール大会
予選リーグ
対盛岡農業○6-3
対千厩●9-10
2位リーグ
対宮古商工・宮古●3-12
対一関第二●2-7

◆第15回岩手県高校女子ソフトボール大
会
1 回戦 対一関第二●0-13
第69回岩手県高等学校新人大会ソフト
ボール競技
1 回戦 対盛岡市立●1-11

卓球部

◆令和4年度岩手県高等学校体育大会
男子 団体3位
◆令和4年度第68回岩手県高等学校新人
卓球大会
男子団体3位
男子ダブルス ベスト8
伊藤蓮・木村鴻聖

◆令和4年度第46回東北高等学校選抜卓
球大会岩手県予選会
男子学校対抗 第2位(東北大会出場)

◆令和4年度岩手県高等学校体育大会
女子団体 ベスト8
女子ダブルス ベスト8
八重樫恵・和野内奏詩(東北大会出場)

◆令和4年度東北高等学校卓球選手権大
会
女子ダブルス 1回戦敗退
八重樫恵・和野内奏詩

◆令和4年度第68回岩手県高等学校新人
卓球大会
女子団体 ベスト8
女子ダブルス 第3位
八重樫恵・和野内奏詩

バレーボール部

◆第75回全日本バレーボール高等学校選
手権大会岩手県予選会
1 回戦 対水沢●0-2 初戦敗退
◆第70回岩手県高等学校新人大会
1 回戦 対黒工●0-2 初戦敗退

◆第74回岩手県高等学校総合体育大会バ
レーボール競技
2 回戦 対宮古○2-0
3 回戦 対盛岡市立●1-2 ベスト16
◆第75回全日本バレーボール高等学校選
手権大会岩手県予選会
1 回戦 対盛岡商業●1-2

◆第70回岩手県高等学校新人大会バレー
ボール競技
1 回戦 対宮古○2-0
2 回戦 対大船渡●0-2 ベスト16

柔道部

◆第74回岩手県高等学校総合体育大会柔
道競技
女子団体
1 回戦 対盛岡一●0-3
男子個人
60kg級 佐藤響紀 1回戦 技有優勢
2回戦 敗退
66kg級 晴山周治 1回戦 技有優勢
2回戦 敗退

◆第55回岩手県高等学校1・2年体重別
柔道選手権
男子個人 2年の部
60kg級 佐藤響紀 1回戦 不戦勝
2回戦 敗退
66kg級 晴山周治 1回戦 内股
2回戦 敗退

◆第67回岩手県高等学校新人柔道大会
男子個人 3人制
1 回戦 対大船渡・盛岡四・盛岡市立
●0-3

◆女子団体
1 回戦 対不来方●0-2
男子個人
60kg級 佐藤響紀 1回戦 不戦勝
2回戦 敗退
66kg級 晴山周治 1回戦 敗退
女子個人
48kg級 大瀧陽愛 1回戦 不戦勝
2回戦 合せ技
57kg級 押切愛佳 1回戦 敗退

◆陸上競技部
◆第74回岩手県高等学校総合体育大会陸
上競技花巻地区予選
★個人通過 7名
上原伯斗 5000m
小田島寛斗 砲丸投

朝倉大樹 400m H
佐藤晴夫 砲丸投げ
菊池海斗 200m
池田昭羽 800・1500・3000m
河野里穂 800・1500・3000m

★リレー通過 男子6名(個人含む)
◆通過計 11名・選手全員通過
◆2022岩手県春季陸上競技大会
男子100m 新関優仁 14位
400m 畠山烈 145位
1500m 菊池海斗 71位
5000m 上原伯斗 56位
400m H 中島光紀 81位
砲丸投 朝倉大樹 10位
400m H 朝倉大樹 10位
砲丸投 佐藤晴夫 15位
女子1500m 小田島寛斗 30位
河野里穂 45位

◆第74回岩手県高等学校総合体育大会陸
上競技
男子
土屋伯斗 5000m 予選敗退
小田島寛斗 砲丸投 NM
朝倉大樹 400m H 準決勝進出
佐藤晴夫 砲丸投 13位
菊池海斗 200m 予選敗退
4×400m R 予選敗退

◆2022岩手県陸上競技選手権大会
一部(国体選考会部門)
朝倉大樹 400m H
予選通過・決勝進出・第7位
二部(記録会部門)
佐藤晴夫 砲丸投げ 第5位
河野里穂 3000m 第4位
池田昭羽 3000m 第6位
◆第73回岩手県高等学校新人陸上競技大
会
河野里穂 3000m 第8位
女子

◆2022岩手県秋季陸上競技大会
1500m 決勝進出
男子
朝倉大樹 800m 第25位
小田島寛斗 砲丸投 第19位
女子
河野里穂 800m 第26位
及川花香 やり投 第14位
◆2022岩手県ベイ・チャレンジ陸上
3rd
男子
土屋伯斗 3000m 第4位
佐々木悠仁 3000m 第7位
中島光紀 3000m 第6位
河野里穂 3000m 第9位

◆第74回岩手県高等学校総合体育大会バ
ドミントン競技
学校対抗 第2位 東北大会出場
ダブルス
第2位 佐々木歩生・黒田脩生
第4位 平賀翔太・小山田泰地
シングルス ベスト8 平賀翔太
◆第51回東北高等学校バドミントン選手
権大会
学校対抗
1 回戦 対鶴岡工業●1-3
ダブルス 1 回戦
佐々木歩生・黒田脩生
対聖ウルスラ学院英智●0-2
平賀翔太・小山田泰地
対聖ウルスラ学院英智●0-2
◆第73回全国高等学校総合体育大会バド
ミントン競技
男子ダブルス
佐々木歩生・黒田脩生
1 回戦 対広島城北●1-2
◆第51回全国高等学校選抜バドミントン
大会東北地区予選会
学校対抗
1 回戦 対清陵情報○3-0

バドミントン部

◆2022岩手県秋季陸上競技大会
1500m 決勝進出
男子
朝倉大樹 800m 第25位
小田島寛斗 砲丸投 第19位
女子
河野里穂 800m 第26位
及川花香 やり投 第14位
◆2022岩手県ベイ・チャレンジ陸上
3rd
男子
土屋伯斗 3000m 第4位
佐々木悠仁 3000m 第7位
中島光紀 3000m 第6位
河野里穂 3000m 第9位

◆第74回岩手県高等学校総合体育大会バ
ドミントン競技
学校対抗 第2位 東北大会出場
ダブルス
第2位 佐々木歩生・黒田脩生
第4位 平賀翔太・小山田泰地
シングルス ベスト8 平賀翔太
◆第51回東北高等学校バドミントン選手
権大会
学校対抗
1 回戦 対鶴岡工業●1-3
ダブルス 1 回戦
佐々木歩生・黒田脩生
対聖ウルスラ学院英智●0-2
平賀翔太・小山田泰地
対聖ウルスラ学院英智●0-2
◆第73回全国高等学校総合体育大会バド
ミントン競技
男子ダブルス
佐々木歩生・黒田脩生
1 回戦 対広島城北●1-2
◆第51回全国高等学校選抜バドミントン
大会東北地区予選会
学校対抗
1 回戦 対清陵情報○3-0

◆2022岩手県秋季陸上競技大会
1500m 決勝進出
男子
朝倉大樹 800m 第25位
小田島寛斗 砲丸投 第19位
女子
河野里穂 800m 第26位
及川花香 やり投 第14位
◆2022岩手県ベイ・チャレンジ陸上
3rd
男子
土屋伯斗 3000m 第4位
佐々木悠仁 3000m 第7位
中島光紀 3000m 第6位
河野里穂 3000m 第9位

◆第74回岩手県高等学校総合体育大会バ
ドミントン競技
学校対抗 第2位 東北大会出場
ダブルス
第2位 佐々木歩生・黒田脩生
第4位 平賀翔太・小山田泰地
シングルス ベスト8 平賀翔太
◆第51回東北高等学校バドミントン選手
権大会
学校対抗
1 回戦 対鶴岡工業●1-3
ダブルス 1 回戦
佐々木歩生・黒田脩生
対聖ウルスラ学院英智●0-2
平賀翔太・小山田泰地
対聖ウルスラ学院英智●0-2
◆第73回全国高等学校総合体育大会バド
ミントン競技
男子ダブルス
佐々木歩生・黒田脩生
1 回戦 対広島城北●1-2
◆第51回全国高等学校選抜バドミントン
大会東北地区予選会
学校対抗
1 回戦 対清陵情報○3-0

◆2022岩手県秋季陸上競技大会
1500m 決勝進出
男子
朝倉大樹 800m 第25位
小田島寛斗 砲丸投 第19位
女子
河野里穂 800m 第26位
及川花香 やり投 第14位
◆2022岩手県ベイ・チャレンジ陸上
3rd
男子
土屋伯斗 3000m 第4位
佐々木悠仁 3000m 第7位
中島光紀 3000m 第6位
河野里穂 3000m 第9位

◆第74回岩手県高等学校総合体育大会バ
ドミントン競技
学校対抗 第2位 東北大会出場
ダブルス
第2位 佐々木歩生・黒田脩生
第4位 平賀翔太・小山田泰地
シングルス ベスト8 平賀翔太
◆第51回東北高等学校バドミントン選手
権大会
学校対抗
1 回戦 対鶴岡工業●1-3
ダブルス 1 回戦
佐々木歩生・黒田脩生
対聖ウルスラ学院英智●0-2
平賀翔太・小山田泰地
対聖ウルスラ学院英智●0-2
◆第73回全国高等学校総合体育大会バド
ミントン競技
男子ダブルス
佐々木歩生・黒田脩生
1 回戦 対広島城北●1-2
◆第51回全国高等学校選抜バドミントン
大会東北地区予選会
学校対抗
1 回戦 対清陵情報○3-0

◆2022岩手県秋季陸上競技大会
1500m 決勝進出
男子
朝倉大樹 800m 第25位
小田島寛斗 砲丸投 第19位
女子
河野里穂 800m 第26位
及川花香 やり投 第14位
◆2022岩手県ベイ・チャレンジ陸上
3rd
男子
土屋伯斗 3000m 第4位
佐々木悠仁 3000m 第7位
中島光紀 3000m 第6位
河野里穂 3000m 第9位

◆第74回岩手県高等学校総合体育大会バ
ドミントン競技
学校対抗 第2位 東北大会出場
ダブルス
第2位 佐々木歩生・黒田脩生
第4位 平賀翔太・小山田泰地
シングルス ベスト8 平賀翔太
◆第51回東北高等学校バドミントン選手
権大会
学校対抗
1 回戦 対鶴岡工業●1-3
ダブルス 1 回戦
佐々木歩生・黒田脩生
対聖ウルスラ学院英智●0-2
平賀翔太・小山田泰地
対聖ウルスラ学院英智●0-2
◆第73回全国高等学校総合体育大会バド
ミントン競技
男子ダブルス
佐々木歩生・黒田脩生
1 回戦 対広島城北●1-2
◆第51回全国高等学校選抜バドミントン
大会東北地区予選会
学校対抗
1 回戦 対清陵情報○3-0

◆2022岩手県秋季陸上競技大会
1500m 決勝進出
男子
朝倉大樹 800m 第25位
小田島寛斗 砲丸投 第19位
女子
河野里穂 800m 第26位
及川花香 やり投 第14位
◆2022岩手県ベイ・チャレンジ陸上
3rd
男子
土屋伯斗 3000m 第4位
佐々木悠仁 3000m 第7位
中島光紀 3000m 第6位
河野里穂 3000m 第9位

◆第74回岩手県高等学校総合体育大会バ
ドミントン競技
学校対抗 第2位 東北大会出場
ダブルス
第2位 佐々木歩生・黒田脩生
第4位 平賀翔太・小山田泰地
シングルス ベスト8 平賀翔太
◆第51回東北高等学校バドミントン選手
権大会
学校対抗
1 回戦 対鶴岡工業●1-3
ダブルス 1 回戦
佐々木歩生・黒田脩生
対聖ウルスラ学院英智●0-2
平賀翔太・小山田泰地
対聖ウルスラ学院英智●0-2
◆第73回全国高等学校総合体育大会バド
ミントン競技
男子ダブルス
佐々木歩生・黒田脩生
1 回戦 対広島城北●1-2
◆第51回全国高等学校選抜バドミントン
大会東北地区予選会
学校対抗
1 回戦 対清陵情報○3-0

◆2022岩手県秋季陸上競技大会
1500m 決勝進出
男子
朝倉大樹 800m 第25位
小田島寛斗 砲丸投 第19位
女子
河野里穂 800m 第26位
及川花香 やり投 第14位
◆2022岩手県ベイ・チャレンジ陸上
3rd
男子
土屋伯斗 3000m 第4位
佐々木悠仁 3000m 第7位
中島光紀 3000m 第6位
河野里穂 3000m 第9位

◆第74回岩手県高等学校総合体育大会バ
ドミントン競技
学校対抗 第2位 東北大会出場
ダブルス
第2位 佐々木歩生・黒田脩生
第4位 平賀翔太・小山田泰地
シングルス ベスト8 平賀翔太
◆第51回東北高等学校バドミントン選手
権大会
学校対抗
1 回戦 対鶴岡工業●1-3
ダブルス 1 回戦
佐々木歩生・黒田脩生
対聖ウルスラ学院英智●0-2
平賀翔太・小山田泰地
対聖ウルスラ学院英智●0-2
◆第73回全国高等学校総合体育大会バド
ミントン競技
男子ダブルス
佐々木歩生・黒田脩生
1 回戦 対広島城北●1-2
◆第51回全国高等学校選抜バドミントン
大会東北地区予選会
学校対抗
1 回戦 対清陵情報○3-0

◆2022岩手県秋季陸上競技大会
1500m 決勝進出
男子
朝倉大樹 800m 第25位
小田島寛斗 砲丸投 第19位
女子
河野里穂 800m 第26位
及川花香 やり投 第14位
◆2022岩手県ベイ・チャレンジ陸上
3rd
男子
土屋伯斗 3000m 第4位
佐々木悠仁 3000m 第7位
中島光紀 3000m 第6位
河野里穂 3000m 第9位

◆第74回岩手県高等学校総合体育大会バ
ドミントン競技
学校対抗 第2位 東北大会出場
ダブルス
第2位 佐々木歩生・黒田脩生
第4位 平賀翔太・小山田泰地
シングルス ベスト8 平賀翔太
◆第51回東北高等学校バドミントン選手
権大会
学校対抗
1 回戦 対鶴岡工業●1-3
ダブルス 1 回戦
佐々木歩生・黒田脩生
対聖ウルスラ学院英智●0-2
平賀翔太・小山田泰地
対聖ウルスラ学院英智●0-2
◆第73回全国高等学校総合体育大会バド
ミントン競技
男子ダブルス
佐々木歩生・黒田脩生
1 回戦 対広島城北●1-2
◆第51回全国高等学校選抜バドミントン
大会東北地区予選会
学校対抗
1 回戦 対清陵情報○3-0

2 回戦 対秋田○3-2
 準々決勝 対ウルスラ英智●0-3
 ダブルス
 平賀翔太・小山田泰地
 1 回戦 対鶴岡工業○2-1
 2 回戦 対浪岡●0-2

◆第74回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技
 学校対抗 第2位 東北大会出場
 ダブルス
 第1位 森柑奈・佐藤鈴緒
 インターハイ出場

シングルス
 第1位 佐藤鈴緒 インターハイ出場
 ベスト8 柳原彩夏

◆第51回東北高等学校バドミントン選手権大会
 学校対抗
 1 回戦 対秋田北●2-3
 ダブルス
 森柑奈・佐藤鈴緒
 2 回戦 対秋田中央○2-1
 準々決勝 対青森山田●0-2
 ベスト8
 シングルス
 佐藤鈴緒
 2 回戦 対ふたば未来学園●0-2

◆第67回岩手県種目別バドミントン選手権大会
 少年の部女子ダブルス
 ベスト8 佐藤鈴緒・森柑奈
 ベスト8 久保田つぐみ・川村心
 3 回戦敗退 熊谷楓・黒田紗希
 少年の部女子シングル
 優勝 佐藤鈴緒
 ベスト8 森柑奈
 2 回戦敗退 村松愛花

◆第73回全国高等学校総合体育大会バドミントン競技
 ダブルス
 佐藤鈴緒・森柑奈
 1 回戦 対唐津南○2-1
 2 回戦 対倉敷中央●0-2
 シングルス
 佐藤鈴緒

1 回戦 対諫早商業●0-2
 ◆第41回全日本ジュニアバドミントン選手権大会
 ダブルス
 森柑奈・佐藤鈴緒
 1 回戦 対城東高校○2-0
 2 回戦 対九州国際大付属●1-2
 シングルス
 佐藤鈴緒
 2 回戦 対四天王寺●0-2

◆第62回岩手県高等学校新人バドミントン大会
 学校対抗 優勝
 ダブルス
 優勝 佐藤鈴緒・森柑奈
 2 位 村松愛花・黒田紗希
 ベスト8 久保田つぐみ・川村心
 ベスト16 菅原萌・熊谷楓
 2 回戦 高橋涼華・田中奈々
 シングルス
 1 位 佐藤鈴緒
 ベスト8 森柑奈 熊谷楓 村松愛花
 ベスト16 久保田つぐみ 菅原萌

◆第51回全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会
 学校対抗
 2 回戦 対弘前実業●2-3
 ダブルス
 森柑奈・佐藤鈴緒
 2 回戦 対秋田北○2-0
 シングルス
 佐藤鈴緒
 2 回戦 対山形城北○2-1
 準々決勝 対青森山田●0-2

◆ソフトテニス部
 【男子】
 令和4年度高総体地区予選ソフトテニス競技
 個人結果
 石川・黒田(9位) 1組県大会出場
 ◆第32回岩手県ジュニア選抜ソフトテニス選手権大会兼ハイスクールジャパンカップソフトテニス2022岩手県予選

男子ダブルス 1 回戦
 新田・戸来 対宮古商工●2-4
 石川・黒田 対岩手●3-4
 高橋・熊谷 対関二●2-4
 男子シングルス
 石川 対久慈●0-4
 黒田 対黒土●0-4
 戸来 対前沢●0-4

◆令和4年度第74回岩手県高等学校総合体育大会 ソフトテニス競技
 男子団体
 1 回戦 対不来方○2-1
 2 回戦 対岩手●0-3
 男子個人戦 石川・黒田
 1 回戦 対岩手●2-4

◆令和4年度新人戦地区予選ソフトテニス競技
 個人結果 藤原・瀬川(13位)

◆第67回 岩手県高等学校新人大会 ソフトテニス競技
 個人戦 藤原・瀬川
 1 回戦 対不来方○4-2
 2 回戦 対一関学院●0-4
 団体戦
 1 回戦 対盛岡一●1-2

◆【女子】
 令和4年度高総体地区予選ソフトテニス競技
 個人結果 3組県大会出場
 ◆第32回岩手県ジュニア選抜ソフトテニス選手権大会兼ハイスクールジャパンカップソフトテニス2022岩手県予選

個人
 1 回戦
 松葉・工藤 対盛岡北●2-4
 2 回戦
 島山・山影 対宮古商工●0-4
 2 回戦
 塚澤・佐々木 対久慈●2-4
 団体戦
 1 回戦 対沼宮内○3-0
 2 回戦 対大船渡●0-3

◆第51回県下高校新人ソフトテニス一関大会
 予選リーグ
 藤澤・三浦 リーグ戦敗退
 松葉・工藤 予選リーグ通過
 島山・山影 予選リーグ通過
 菅原・伊藤 予選リーグ敗退
 照井・小田島 予選リーグ通過
 決勝トーナメント 1 回戦
 松葉・工藤 対大船渡●1-4
 照井・小田島 対花巻南●1-4
 島山・山影 対前沢○4-2
 2 回戦
 島山・山影 対大船渡●2-4

◆令和4年度岩手県高等学校新人大会 ソフトテニス競技花巻地区予選
 個人戦
 島山・山影 2 位 ●3-4 遠野
 松葉・工藤 5 位 ○4-2 花巻北
 藤澤・三浦 7 位 ○4-1 遠野
 以上県大会出場
 団体戦 地区順位戦 予選リーグ
 対花巻○3-0
 対遠野●1-2
 得失数で予選リーグ通過
 決勝戦
 対花北○2-0 地区1位通過

◆第67回岩手県高等学校新人大会
 個人戦 松葉・工藤
 1 回戦 対一関二○4-0
 2 回戦 対盛岡北○4-2
 3 回戦 対盛岡商○4-2
 4 回戦 対宮古商工○4-2
 準々決勝 対高田●3-4 ベスト8
 ◆岩手県ソフトテニス連盟U17・20選手権大会

個人
 1 回戦
 2 回戦 対水沢商○4-1
 3 回戦 対大船渡●3-4 ベスト32
 選抜インドア選手権大会出場
 藤澤・三浦
 1 回戦 対宮古●1-4
 団体戦
 1 回戦 対北上翔南・金ヶ崎○2-1
 3 回戦 対久慈●0-2 ベスト16
 選抜インドア選手権大会出場
 ◆東北ソフトテニスシングルス選手権大会
 1 回戦
 松葉 対東北●0-4
 工藤 対東北●1-4

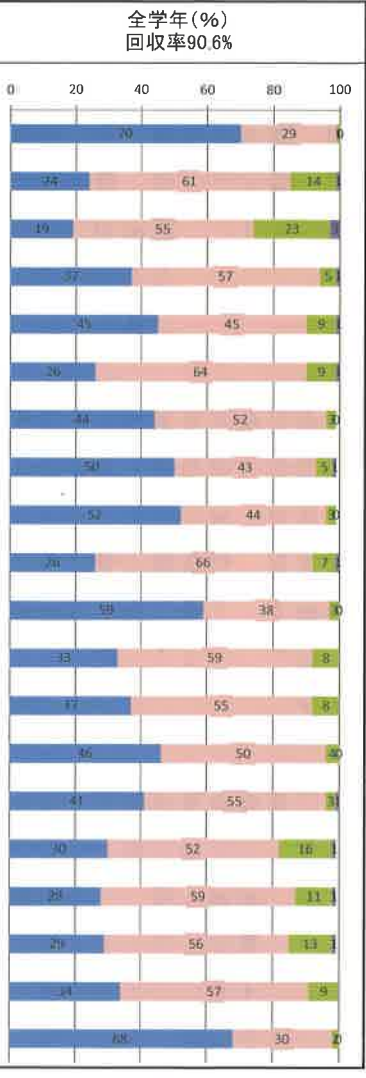
◆第54回岩手県高等学校選抜インドアソフトテニス大会
 個人戦
 島山・山影
 1 回戦 対高田●0-4
 松葉・三浦
 1 回戦 対久慈●0-4
 2 回戦 対大船渡●3-4 ベスト16
 団体戦
 対一関学院●0-3

◆【男子】
 ◆第74回岩手県高等学校総合体育大会 サッカー競技
 1 回戦 対盛岡三●0-1
 ◆高門宮杯JFA U-18 サッカーリーグ2022岩手LEAGUE DIVISION IHC
 第1節 対不来方2nd●1-10
 第2節 対専大北上3rd●0-10
 第3節 対遠野緑峰○22-0
 第4節 対花巻南○4-3
 第5節 対水沢工●1-3
 第6節 対福岡・福岡工 0-0
 第7節 対盛岡南●0-3
 第8節 対遠野緑峰○6-0
 第9節 対専北3rd●0-16
 第10節 対福岡・福岡工●1-13
 第11節 対盛岡南○4-2
 第12節 対不来方2nd●0-8

- ◆第14節 対水沢工●1-5
- ◆第101回全国高等学校サッカー選手権大会
1回戦 対江南義塾●1-7
- 【女子】
- ◆第74回岩手県高等学校総合体育大会サッカー競技
1回戦 対専大北上●0-15 第4位
- ◆第31回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 岩手県大会
1回戦 対専大北上●0-36
3位決定戦
対水沢 不戦勝 第3位
- ◆第57回岩手県高等学校新人サッカー大会
1回戦 対不来方●0-14
3位決定戦
対水沢●0-7 第4位
- ◆第28回岩手県女子サッカーリーグ開幕節 対不来方イレブン○1-0
- ◆第2節 対盛岡ゼブラ●0-4
- ◆第3節 対水沢高校●2-3
- ◆第5節 対フォルタレオン●0-12
- ◆第6節 対フォルタレオン●0-16
- ◆第7節 対不来方イレブン○5-0
不戦勝
- ◆第8節 対盛岡ゼブラ●0-13
最終節 対水沢高校●1-3
- ◆吹奏楽部
◆第60回岩手県吹奏楽コンクール中央地区大会
高等学校小編成の部 銀賞
- ◆岩手県アンサンブルコンテスト花巻支部大会
管楽三重奏 銅賞
- ◆珠算部
◆令和4年度岩手県高等学校ビジネス計算競技大会
電卓競技(団体の部) 第3位
珠算競技(団体の部) 第2位
珠算競技(読上暗算) 第2位
和野内奏詩
- ◆令和4年度岩手県高等学校新人ビジネス計算競技大会

- ◆珠算競技(団体の部) 第2位
- ◆珠算競技(個人総合の部) 第3位
- 田中心結 東北大会出場
- 文芸部
- ◆第29回岩手県高等学校からた選手権大会
団体戦 対一関1-14 第2位
個人戦 第6位 戸田彩水
第7位 菅原百花
- ◆第29回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた選手権大会
団体戦 第7位 8チーム中
- ◆第46回全国高等学校総合文化祭とうきょう総文2022小倉百人一首かるた部門
団体戦 1回戦 対鳥取県○4-1
2回戦 対福島県●0-5
- ◆第45回岩手県高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門
個人戦 第4位 川村真鈴
第8位 牛崎美琴
- ◆第29回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた新人大会
団体戦 第6位 8チーム中
- ◆第28回岩手県高等学校新春大会個人戦 第7位 濱田杏恩
- ◆令和4年度「岩手県高校生文芸コンクール」
(詩部門) 最優秀賞 玉山日葉美
優秀賞 戸田彩水
入選 佐々木羽菜
八重樫春希
(児童文学部門) 入選 濱田杏恩
(戯曲部門) 入選 菅原百花
(俳句部門) 入選 川村真鈴
- ◆第37回全国高等学校文芸コンクール(詩文門) 入選 戸田彩水
- ◆O A部
◆令和4年度岩手県高等学校ワープロ競技大会 第2位

評価指標	0	20	40	60	80	100
【総合】本校は、工業科、商業科、家庭科の総合的な専門高校として特色が出ていますか。	0	70	29	0	0	0
【学校】本校は、生徒一人一人を理解し、成長させるため、家庭とうまく連携がとれていると思いますか。	0	24	61	14	0	0
【PTA】PTA活動が活発で、保護者とも良い関係になっていると思いますか。	0	19	55	23	0	0
【学習】進路希望による科目選択ができ、生徒一人一人に対応した授業が行われていると思いますか。	0	37	57	5	0	0
【学習】各種資格や検定を取得するための情報提供や指導が十分に行われていると思いますか。	0	43	45	9	0	0
【学習】学習の目標が明確で、工夫された学習活動が行われ、わかりやすい授業が行われていると思いますか。	0	26	64	9	0	0
【生活】整容(服装)指導が適切に行われていると思いますか。	0	44	52	3	0	0
【生活】生徒は、あいさつやマナーが良いと思いますか。	0	51	43	5	0	0
【生活】学校行事(体育祭・青春祭など)が充実しており、生徒会活動などに一生懸命取り組んでいると思いますか。	0	52	44	3	0	0
【生活】本校は、「いじめ」の未然防止のために十分に取り組んでいると思いますか。	0	28	66	7	0	0
【部活動】生徒は、部活動に一生懸命取り組んでいると思いますか。	0	53	38	9	0	0
【進路】本校は、進路についての情報提供や資料配付について、よく取り組んでいると思いますか。	0	33	59	8	0	0
【進路】生徒の適性や希望に応じた進路指導を行っていると思いますか。	0	17	55	18	0	0
【厚生】生徒の健康や安全・衛生面についてきちんと対応していると思いますか。	0	36	50	14	0	0
【厚生】教室や廊下など清掃、整理整頓が行き届いていると思いますか。	0	41	55	3	0	0
【図書】生徒は、朝読書などを通し本に親しんでいると思いますか。	0	30	52	16	0	0
【教育相談】本校は、生徒が相談しやすい環境にあり、個々に親切に対応していると思いますか。	0	28	59	11	0	0
【情報】刊行物やホームページなどで、学校内の情報が適切に伝わっていますか。	0	29	56	13	0	0
【施設】本校は施設・設備(図書館・実習棟・体育館など)が整備されていると思いますか。	0	34	57	9	0	0
【総合】本校に入学させてよかったと思っていますか。	0	38	50	12	0	0



学校評価に係る保護者アンケート集計

◆個人部の
第3位 多田叶夢
第5位 多田遥夢

◆令和4年度第69回全国高等学校ワープロ競技大会
多田叶夢 個人第46位

◆令和4年度岩手県高等学校新人ワープロ競技大会 第1位
個人部の部 第1位
第1位 松本涼花

◆工学研究同好会
第2位 岡崎愛月
第4位 藤瀬日陽莉

◆ジャパンマイコンカーラリー2023
北東北地区大会
アドバンスクラス 優勝 大原空晃

◆ジャパンマイコンカーラリー2023
全国大会
アドバンスクラス 完走賞 大原空晃

◆ビジネス情報科
令和4年度第34回全国高等学校情報処理競技会
佐々木羽菜 176位(231人中)

◆令和4年度岩手県商業高等学校英語スピーチコンテスト
レシーションの部 第6位入賞
佐々木 実音

学年長より

〇1学年PTA報告



1学年長 宮原 淳
12月2日(金) 1

学年PTAを多目的教室を会場に開催いたしましたので報告させていただきます。

本来であれば開催に先立ち授業参観を実施したかったのですが、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっており、やむなく総会とクラス懇談会のみの実施となりました。

PTA報告・説明においてはIA 17名(19)、IB 18名(23)、IC 17名(18)、ID 17名(22)合計69名(82)(カッコ内は参加予定人数、コロナ等により当日不参加になった方が13名)で出席率47%(56%)のご参加を頂きました。コロナ状況にもかかわらず、お忙しい中ご参加いただき感謝申し上げます。

開会行事では学年委員長の宮野隆一様よりご挨拶を頂きました。

報告・説明では3つの項目についての報告・説明がありました。1つ目は学校概況報告、2つ目は来年度の科目選択を中心として教務部から、4つ目は現在の進路状況を中心に進路指導部からそれぞれ報告・説明が行われました。

1つ目の学校概況報告では

学年の様子を中心に成績概要や日常生活の様子などの報告がありました。入学当初に比べ学校生活にも慣れ、朝読書から始まる1日を落ち着いて生活を送っているように見えます。

2つ目は教務部且野先生よりコース選択・進路選択科目の説明がありました。選び方のポイント、学科ごとの設定科目の特性・注意点などを話していただきました。

3つ目は三浦進路指導部長より本年度3年生の進路状況の報告がありました。進路実現に向けて1学年から取り組みべきこと、「進路の手引き」の活用方法などを説明いただきました。

全体会最後に出張から戻られた佐々木伸良校長より挨拶を頂きました。

全体会閉会后にクラス懇談会をもち、貴重な意見や情報を頂きました。今後とも職員一丸となり指導してまいりますので今後ともご理解ご協力を頂きますようよろしくお願い申し上げます。

〇2学年PTA報告



2学年長 戸塚 敏彦
第2学年PTA
Aを11月2日(水)

多目的教室を会場に開催しましたので報告させていただきます。ご多用中にもかかわらず、81名(参加率64%)の保護者に参加いた

いただきました。昨年度の同様多くの参加をいただきました。感謝申し上げます。

さて、当日は、全体会に先立ち、「進路説明会」を実施し、続いて「全体会、現状報告」「修学旅行について」そして「学級懇談」という内容で進行しました。「進路説明会」では三浦進路部長から現在の進路状況について情報を提供していただきました。

「全体会、現状報告」では学年委員長の市川清志様にご挨拶をいただき、その後学校長からの挨拶をいただきました。学年役員、PTA活動行事等の報告後、学年全体概況ならびに考査概況についての報告、科目選択についての説明がありました。

昨年同様全体的に大きな乱れはなく、生徒は落ち着いて学校生活を送っていること、考査概況から進路実現に向けて家庭学習の取り組みをしていただくようお願いをさせていただきます。

「修学旅行について」では3泊4日の行程及び留意事項について、資料をもとに説明させていただきます。

今回の修学旅行では、コロナウイルス感染症対策をとりながらの修学旅行となるため、可能な限りの対応ができるように、キャンセル費用保険、コロナウイルス感染症一時金特約付国内旅行保険に加入すること

を説明しました。修学旅行は生徒全員が参加

することはできませんでしたが、岩手県内でコロナウイルス感染症が拡大している中、多くの生徒が参加することができました。これもひとえに保護者様の普段からの生徒への体調管理のおかげだと思っています。

高校生活の中で大きなイベントの一つである修学旅行が終わり、来年は進路に向けて勝負をする年になります。すでに多くの生徒が上級資格取得や基礎学力の向上、進路研究など自身の夢にむかって歩みだしています。我々2学年団もこの歩みを加速させるべく、進路ガイダンス、講演会等を実施し、最大限のサポートをして参ります。

保護者の皆様には今後ともより一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。学年PTAの報告とさせていただきます。

〇3学年PTA報告



3学年長 金子 俊二
3学年保護者
の皆様、お子様
のご卒業おめでとう
ございます。ここ青雲台
での3年間の学びで
お子様も大きく成長
しました。これま
での本校の教育に際
してご協力をお願い
いたします。感謝に
堪えませ

さて、思い返すとこの3年は新型コロナウイルスの感染との闘い(共生)に明け暮れ

ました。入学式・高総体・体育大会・青雲祭・進路関連と影響を受けた行事を思うと枚挙にいとまがありません。そして、昨年の「会報」で掲げた目標は修学旅行を全員で行こう!でした。

修学旅行は昨年12月、2年生が帰校したのと入れ替わりに3年生が出発、3泊4日の京都・奈良・大阪を巡る旅でした。案の定、コロナ感染で旅行に行けなくなった生徒も出ましたが、概ね目的は達成され、無事一行は帰校しました。おそらく後にも先にも本校での3年生での実施はこれが最後となるのではないかと思います。

学年PTAも修学旅行が予定されたことから、5月9月11月の3度の開催となり、多くの保護者の方にお集まりいただきました。各種行事の開催には感染症対策を講じ、準備を整えてのものでしたが、何事もこれで十分といったことがないと感じたこの3年でした。

この3月も、4月からの新しい新生活に向けた準備で慌ただしいことと思います。是非この学び舎で学んだことを生かし、お子様には次のステージでまた新しい景色を見られるよう我々一同見守っていきたく思います。保護者の皆様のご理解ご協力に感謝申し上げます。

令和4年度PTA役員
ありがとうございました

PTA役員 (敬称略)

会長 小菅 孝広

副会長 阿部 晃一

市川 清志

宮野 隆一

橋本 展子

平賀 勇樹

菅原 智子

及川 真喜

藤本 真帆

佐々木伸良 (校長)

母親委員代表

山中 和美

監事

木村 清師

長谷川万智子

鎌田 千花

理事
◎3学年

委員長 阿部 晃一 (広報)

副委員長

橋本 展子 (母親)

理事

須川 龍子 (広報)

佐々木佳奈子 (校外生活指導)

村本美由貴 (校外生活指導)

小菅 孝広 (学習)

高橋 君江 (学習)

五内川紀子 (環境整備)

木村 清師 (環境整備)

白石たみ江 (母親)

山中 和美 (母親)

晴山みずほ (母親)

◎2学年

委員長 市川 清志 (広報)

副委員長

平賀 勇樹 (母親)

菅原 智子 (母親)

理事

葛巻 欣子 (校外生活指導)

河野 義良 (校外生活指導)

安部 敬子 (学習)

南 一行 (学習)

久保田佐和子 (環境整備)

森 静香 (環境整備)

長谷川万智子 (母親)

信太 正光 (母親)

◎1学年

委員長 宮野 隆一 (学習)

副委員長

及川 真喜 (母親)

藤本 真帆 (環境整備)

理事

阿部 ゆかり (広報)

高橋和佳子 (広報)

福山 剛 (校外生活指導)

幅野 恵子 (校外生活指導)

袖林 恵美 (学習)

橋本 夏美 (環境整備)

鎌田 千花 (母親)

黒田由美子 (母親)

昆野美紀子 (母親)



PTA事務局日誌

令和4年

4月8日(金)…入学式、PTA入会式、PTA必携発行、第1学年PTA理事会

4月11日(月)…PTA監査

4月20日(水)…第1回役員会、理事会

5月12日(木)…中部地区PTA連絡協議会

5月13日(金)…PTA総会、第1回3学年PTA

5月18日(水)…PTA専門委員会(母親、校外指導生活、広報、環境整備、学習)

6月3日(金)…県高P連定期総会並びに研究協議会

6月10日(金)…第2回役員会

7月1日(金)…第71回東北地区高等学校PTA連合会盛岡大会

7月25日(月)…環境整備委員会石鳥谷駅周辺清掃

8月25日(木)…第71回全国高等学校PTA連合会大会石川大会

9月21日(水)…第2回3学年PTA

9月22日(木)…県高等学校PTA連合会母親会員交流会

9月29日(木)…第3回役員会

10月12日(水)…校内ロードレース大会

10月13日(木)…登校時一声マナーアップ運動

10月20日(木)…2学年役員会

10月21日(金)…県高等学校PTA連合会会長研修会

11月2日(水)…2学年PTA

11月11日(金)…県高等学校PTA連合会事務局長研修会

11月18日(金)…第3回3学年PTA

11月24日(木)…PTA研修会

12月2日(金)…1学年PTA

令和5年

1月27日(金)…花巻市青少年育成会議 朝のあいさつ運動(石鳥谷駅前)

2月22日(水)…第4回役員会

3月1日(水)…卒業式、PTA会報発行

4月11日(火)…会計監査(予定)

1年間ありがとうございました

令和4年度 PTA広報委員会

委員長 阿部 晃一

副委員長 市川 清志

須川 龍子

阿部 ゆかり

高橋 和佳子



今年度も新型コロナウイルス感染症によるパンデミックのため、PTA行事・PTAの各種会議や学校行事も縮小となり、会報の原稿集めにも苦労いたしました。このような状況ではありますが、PTA会員の皆様のご協力でなんとかPTA会報第106号を発行する運びとなりました。この場をお借りして感謝申し上げます。なお、今年度からPTA会報は年1回の発行となり、学校の様子は「学校ホームページ」で随時更新されておりますので、どうぞご覧ください。コロナ禍がいつ終息するかわからない状況ですが、今後もよりよい会報にしていきたいと思っておりますので、保護者の皆様からの御意見・ご要望を広報委員会までお寄せください。

TEL 0198-45-3731 FAX 0198-45-3746

〒028-3172 花巻市石鳥谷町北寺林11-1825-1

花北青雲高校 総務部 宛

印刷所 トーバン印刷(株)